

洋光台第三小学校 バス訪問説明会

(平成 15 年 9 月 24 日)

実施報告



2003年9月

横浜交通労働組合

港南支部青年婦人部 編

はじめに

私が小学校低学年のときに、地元を走るバスに一人で乗った時、新車がきました。バスの大好きだった私は、1番前の席に陣取り、「新車だぁ〜」ときよろきよろ見回していると、担当の運転手さんが、「このバス入ったばかりだよ。」と、少し得意げに話し掛けてくれました。大きなハンドルを回し、大きなバスを運転する姿を見て、「かっこいい!」。「僕もバスの運転手になる!」そう思いました。

小学4年生のとき、新しい博物館ができて、祖父と行きました。その博物館にはバスの実車が展示してありました。運転席に座って、自由に操作することが出来るようになっていました。「夢がかなう!」今でも忘れられません。

私みたいな小学生がどれほどいるかは分かりません。でも多くの男の子は『バスの運転手さん』に1度は憧れをもつのではないのでしょうか。そして、女の子でも、「普段座れない運転席に座る」という体験は、大人になっても、印象に残るのではないか。こういう考えのもと、本活動を提案させていただきました。

『バスの運転手』は、子供達に夢を与えることのできる素晴らしい仕事だと思います。このPR活動を機会に、多くの子供達に『バスの運転手さん』になりたい、『運転席に座る夢がかなった。』そう思ってもらえればうれしいです。そうでなくても、実際に運転席に座り、車内装置に触ることで、「わたしたちの市営バス」になって、市営バスをより身近な存在として感じてもらえればと思います。

この活動が、少しずつ広がり、横浜の小学生みんなが、『市営バス』を身近に感じてもらえるようになったら、とても素晴らしいことでしょう。そして、バスの乗り方などを教えることにより、私達の仕事もしやすくなることでしょう。小学生と私達の関係が『見る・見られる』という関係になれば、私達も子供達に憧れられる『運転手さん』を目指さなければなりません。

今私達は、「民営化」だなんだと、将来の計画も立てにくい状況にあります。恐らく、民間の会社では、仕事をこなすことに精一杯で、このような活動はなかなかできないのではないのでしょうか。この活動を通じて、営業所や組合の枠を超えて、市民の皆さんに『市営バス』の良さをアピールしていきませんか。そして市民の皆様から「市営バスは必要だよ!」と言ってもらいませんか。

港南支部青年婦人部教宣部長（PR活動提案者）

港南営業所（バス運転手）

近藤嘉一

目次

洋光台第三小学校バス訪問説明会（平成15年9月24日） 実施報告

1	実施までの経過	4
2	実施内容・手順（平成15年9月24日当日）	7
	（ア） 09:00 港南営業所集合（港南+自工）	7
	（イ） 09:30 全員集合（他営業所協力者）	8
	（ウ） 09:55 出庫（先発隊和田・近藤2名は5分前に学校へ向け出発済み）	8
	（エ） 10:10 小学校到着（先発隊は先に職員室に挨拶に行く）	8
	（オ） 10:15 2時間目終了	8
	（カ） 10:20 準備が出来次第説明会を開始する	9
	（キ） 10:30 3時間目開始	11
	（ク） 11:15 3時間目終了	11
	（ケ） 11:25 4時間目開始	11
	（コ） 12:10 4時間目終了	11
	（サ） 12:15 バスを小学校から出す	12
	（シ） 12:30 港南営業所入庫	12
3	アンケート	13
4	参加メンバーと参加体制	14
5	参考資料編	15
	（ア） 参考資料1 児童説明用紙芝居構成（全19枚）	15
	（イ） 参考資料2 紙芝居の留意事項	19
	（ウ） 参考資料3 写真撮影上の注意事項	22
	（エ） 参考資料4 小学生アンケート集約	24
	（オ） 参考資料5 参加者アンケート集約	27
	（カ） 参考資料6 車内広告スペースへの児童絵画展示(ギャラリーバス)について	29

お断り；本報告書の写真は、児童の「肖像権」の問題に抵触するため、一部画像処理を行なっております。臨場感あふれる報告書にしたかったのですが、その点ご容赦いただきたいと思います。今後、同様の活動を計画している方々にはこの点注意していただきたいと思います。

1 実施までの経過

- 6月13日 2003年度第1回港南支部青婦部幹事会開催（港南支部会議室）
今期新体制になって初の幹事会。
専門部活動方針において、近藤嘉一教宣部長から提案
「従来の組織内向けの学習会にかえて市民に向けてPR活動をしたい」
市営交通事業あり方検討委員会の発足とともに、われわれの職場を見直すきっかけとなること、市民を味方につけることを目的とする横浜交通クリエーション¹の活動を各支部に広げることができること、などから、全会一致で活動方針を採択²。
- 7月30日 第3回港南支部青婦部幹事会開催（港南支部会議室）
PR活動に向け、具体的に議論を重ねる。
開催予定候補小学校決定³（洋光台第3小学校）
全員参加（休暇・公休・自己啓発職免対応）を決定
「開催申し入れ書」職場協議会提出の可否を支部に稟議
- 7月31日 港南営業所・職場協議会へPR活動の申し入れ（竹内一弘青婦部長）
開催申し入れ書を提出
横浜市立洋光台第3小学校へAppointmentをとる（和田朋徳青婦部書記長）
- 8月1日 横浜市立洋光台第3小学校へ開催申し込み（和田書記長）
小学校側；上村先生（1年生担任）へ企画書を提出。

¹ 横浜交通クリエーションとは、正式名称を「明日の横浜交通を創造する委員会」といいます。各支部の若手組合員が集まり、市民を交通局の味方につけることを目的に、各グループに分かれて活動をしています。詳細は横クリ HP (<http://www.yokokou.com/iin.html>) をご覧ください。

² このPR活動の目的としては、市民との交流を積極的に図ることで交通局をアピール市民にバリアフリーを意識してもらい、心のバリアフリーも高めていく 交通局の福祉対策を理解してもらい 小学生に単独乗車時の安全意識を植えつける 市営交通をさらに身近な存在に感じてもらう、という5項目を重点として行ないました。

³ 小学校の選定については、営業所管轄区域内の小学校であること、できれば実施の便宜上、同一区内在望ましい。そして、バスが学校内に容易に入れる学校ということで、バスを搬入口となる校門や留置するグラウンド状況の調査、ノンステ等の超低床バスの車高の関係や、校門の並木の枝など接触しないか、グラウンドにおけるスプリンクラー設置状況などさまざまな項目を調査しました。さらに、学校長やPTAの理解がある学校であることも選定の条件でした。営業所・支部・組合員に縁故・交友関係がある学校だと交渉しやすいということで、今回は和田の母校である洋光台第3小学校に決定しました。

- 8月6日 交通局総務部へ職員提案票提出（和田書記長）
自動車部長巡視の際、長崎栄一自動車部長へ今回の企画を伝える。
営業所側と折衝（大森所長・斉藤副所長・高橋支部長・和田）
小学校へ企画書提出の件、バス2台使用、安全対策の件を詰める
- 8月22日 洋光台第三小学校職員会議にて本説明会開催承認
4・5年生が校外授業ゆえグラウンド調整容易な9月24・25日がよい。
2年生も参加したい。
- 8月26日 洋光台第三小学校より実施要望の連絡あり。
所長へ経過報告書提出（和田書記長）
日時⁴...9月24日 10:15～12:10
3時間目を1年生 10:30～11:15
4時間目を2年生 11:25～12:10
- 第4回港南支部青婦部幹事会開催（港南支部会議室）
PR活動へ議論を煮詰める
- 8月27日 港南支部青婦部機関紙（あしたの風第2号）発行
PR活動開催を職場・他支部へ周知
- 8月29日 小学校を訪問、具体案を検討（大森所長・和田書記長・近藤教宣部長）
雨天時の対応につき学校側より予備日設定の希望あり...10月2日決定
- 9月1日 職員提案票提出（和田書記長）
和田個人の考え方のため、個人名で提出。

4日時の決定については、小学校の行事等の予定が優先です。授業においては、総合学習として、担任が自由に選べる授業があるそうです。年度始めに1年間のスケジュールが決まっている。半年先のほうが予定が組みやすいとのこと。また、運動会や遠足の時期・先生の出張などがあるので、その点にも注意が必要です。営業所に来所しての見学会開催であれば、1学期がベターということです（1・2年生はあまり校外に出ない・3年生は1・2学期に町探検という授業がある）。実施に際しては、授業時間にも配慮が必要です。体育や文化祭練習などで児童がグラウンドに滞留するか否かもポイント。バスを設置するのに校庭の半分は必要になるため、できる限り児童がいない時間を見計らう必要があります。1時間目は朝礼があるので、校庭に児童がいないため搬入しやすいです（月曜日などの朝礼は体育館でやってもらうとスムーズ）。4時間目なら給食の時間があるので、搬出しやすい。

- 9月20日 第5回港南支部青婦部幹事会開催（港南支部会議室）
 ・当日の車両の確認・台本の読み合わせ
 ・運転席での内容・役割分担・アンケートの内容
 それぞれ検討する。
- 9月21日 営業所へ最終報告書&実施要綱提出（和田書記長）
- 9月23日 最終準備（和田書記長・近藤教宣部長・鈴木財務部長）
 ・紙芝居作成・PR活動最終確認
- 9月24日 バス訪問説明会開催
 於；洋光台第3小学校 校庭
- 9月30日 洋光台第3小学校を訪問（和田書記長）
 アンケート、児童の絵画を受け取る。
 先生方（ほぼ全員）と反省点を話し合う。
- 10月7日 訪問見学会報告書・マニュアル完成（初版）
 各職場へ送付
- 10月31日 児童の絵画を路線バス車内に展示準備する（2-3745号）。



11月1日～30日「洋光台第三小学校ギャラリーバス」として111系統（上大岡駅～洋光台駅～港南台駅前）を集中的に走行予定（[参考資料6](#)）。



2 実施内容・手順（平成 15 年 9 月 24 日当日）
（ア） 09:00 港南営業所集合（港南+自工）



車両準備

車両点検・燃料確認

持参物一式確認



児童配布用パンフ等

ベニヤ板（工場×4）・・・ハンドルを回しても前輪がめり込まないようにする為

輪留め（工場×4）・車椅子（営業所×2）

説明用の写真（紙芝居用）×4・生徒が被る帽子（営業所×2）

50円キャンペーンステッカー（営業所4・5枚）

名札（写真参照；台紙は市販の名刺印刷用の用紙）

ビデオカメラ・デジタルカメラ・ロングマイク（港南工場・松野氏作成×2）

児童配布物一式...バスの形をしたティッシュ・路線図・「お客様とのお約束」パン

フレット（以上営業所）カンバッジ（学年毎2種類・横クリ坂田氏作成）



当日つけた名刺

小学校低学年でも読めるように、大きくひらがな書きで。

- (イ) 09:30 全員集合（他営業所協力者）



注意事項の確認

スケジュールの確認

役割分担の確認

- (ウ) 09:55 出庫（先発隊和田・近藤2名は5分前に学校へ向け出発済み）
(エ) 10:10 小学校到着（先発隊は先に職員室に挨拶に行く）



- (オ) 10:15 2時間目終了

バスを校庭に入れ各装置を設定

白線よりもこちら側に生徒が入っていないことを確認

運転手以外全員で保守に充たる

設置場所が決まったらパイロン設置

前タイヤにベニヤ

前後のタイヤを輪留めで固定

後部ドアを開き非常コックを開ける

ホーンスイッチを切る

音声合成をセット

方向幕セット

ニーリングスイッチ上げた状態で「手動」

(カ) 10:20 準備が出来次第説明会を開始する

1年生と挨拶&注意事項説明(学年にあわせた話し口調で)

挨拶内容は以下のとおりです。

.....
皆さんこんにちは。

私は市営バスの港南営業所で運転手をしています、和田といいます。

今日は皆さんに市営バスの事を知って貰おうと、ノンステップバスというバスを持って来ました。これは乗る時、降りる時に段差が無いバスです。

さてみんなには、様々な説明や体験をしてもらいますが、その中で幾つかお願いしたい事が有りますので聞いて下さい。

まず一つ目はエンジンがかかっているのでバスの後ろ側にあるマフラーには触らないで下さい。

二つ目、バスの下に潜らないで下さい。潰されてペッチャンコになっちゃいます。

三つ目、運転席に座ってもらいますが言われた所以外は触らないで下さい。もしかしたらバスが勝手に動き出してしまうかも知れないですよ！(笑)

四つ目、バスの車内で走り回ったり遊んだりしないで下さい。

あと、今日はバスの運転手さん、バスの整備士さん、市営地下鉄の車掌さんが来ています。聞きたいことが有ったら質問してみてください。

それでは、みんなで楽しくお勉強しましょう。

1組のみなさんは1号車に、2組のみなさんは2号車に乗って下さい。
.....

手順は以下のとおりです

ノンステップバスを2台使用（1クラス1台）

1クラスを2グループに分ける

(イ) 運転席に座り運転装置を体験（20分）

2年生に車椅子の生徒さんがいるので運転席に座る際に人手が必要

前ドア（レバーを動かすと開閉する）

安全確保のために他の児童が中からも外からも前ドアに近づかないようにする

ニーリングスイッチをOFFにする

後ドアのスイッチが隣にあるので注意（エアーは抜いておく）

車内放送（ボタンを押すと車内にバス停の案内放送が流れる）

2系統港湾病院行き音声合成には45箇所のバス停案内

基本的に自由に押すことが出来る様にする

ボタン一つで再セット出来る

方向幕（ボタンを押すと行先案内の方向幕が回る）

基本的に1人1回

5つ位動かす

(ロ) バス後部に座ってもらって説明

バス乗務員の一日を紙芝居形式の写真で説明する（10分）

紙芝居については後掲[参考資料1](#)（紙芝居実例）[参考資料2](#)（紙芝居の留意事項）参照

車椅子の実演（5分）

誰かに車椅子に乗ってもらう

車椅子を設置するスペースの椅子に座っている生徒に譲って貰う

役割分担⁵

総合プロデューサー	和田朋徳
運転手役	1号車・菅沼正人 2号車・薄 宏幸
紙芝居役	1号車・近藤嘉一・竹内一弘・遠藤竜一 2号車・鈴木順弘・赤須和博・岩崎 淳
保守役	その他参加者全員

- (キ) 10:30 3時間目開始
- (ク) 11:15 3時間目終了
1年生と挨拶&2年生と入れ替え
- (ケ) 11:25 4時間目開始
2年生が揃いしだい挨拶&注意事項説明して開始
- (コ) 12:10 4時間目終了
説明会終了&2年生と挨拶する

⁵役割分担について

総合プロデューサー・運転席担当・紙芝居担当・車椅子担当・保守担当がある。

バス1台時における要員体制としては、おおよそ10名程度が必要です。

- ・総合プロD1名 報道・学校側との調整役・タイムキーパー役(これは企画・立案時の責任者が望ましい)
- ・運転席担当2名 運転席担当に1名、前ドア(タイムキーパー役)に1名
- ・紙芝居役3名 紙芝居を持つのに2名、紙芝居説明に1名
- ・車椅子担当1名 紙芝居役と兼務OK
- ・保守係2~3名 バス周辺にて保守

バスが2台の場合には総合プロデューサー以外は1台のときに比べ、2倍ほど要員が必要です。

(サ) 12:15 バスを小学校から出す

入れた時と同様に運転手以外は保守に充たる

本活動において一番の難所が小学校からの搬出作業でした...当初、校門から出ようとしたものの、バス前面車高不足から搬出不能であったので、バックで狭い正面道路に出ました(写真参考)



(シ) 12:30 港南営業所入庫

入庫後あと片付け・借用物をそれぞれ返却
営業所にて所長・副所長を交えて総括
昼食会を兼ねた反省会



反省会で出された反省事項・その他報告事項

- 時間配分がうまくいかなかった...タイムキーパーの必要性
- 自己啓発職免申請が可能となったこと
- バスを持って行くだけでなく、工場などの見学会も
- 浅間町では上菅田養護学校での企画あり
- 横クリB班も小学校へ
- 本牧でも3校ほど候補に挙がっている

- 野庭クリは8名ほどで活動開始
- 自工クリも積極的に協力する
- バスは2台よりも1台のほうが能率がよい
- 開催予備日と自己啓発・参加体制の問題
- 営業所「名義」だが、いかに青婦部がイニシアティブをとるか

先生との反省会において出された指摘・反省点・改善点

- 生徒の運転席に座っている時間がまちまち
- 方向幕をやったグループとやってないグループがあった
- 紙芝居は車外のほうが良いのでは？（運転席が気になって話を聞かない）
- 紙芝居を先にして車椅子を何回も行って見たら？
- 紙芝居の内容が重たくて小学生低学年には受け入れにくい
- 質問コーナーを設けて場をつないでみては？
- 実際に乗車の体験をやって見たら良い
- 1学期に課外学習が多い
- 3・4年生は「町探検」があるので1・2学期なら営業所に呼べるかも
- 校庭に教材が来るのが大助かり
- 3年生もやって欲しかった
- P T Aの反応も良かった
- 肖像権の扱い方も学校それぞれ...校長しだい

3 アンケート

実施効果を確認する為対象となった小学1・2年生に適した[アンケート](#)を実施。

活動参加メンバーにも[アンケート](#)を実施。

実施後小学校の先生方と反省会を行い（9月30日）意見聴取をする。

アンケートの集約結果は営業所・経営計画課・横交本部等に提出し、今後の活動に活かしていく。

4 参加メンバーと参加体制

ご協力ありがとうございました（敬称略）

遠藤竜一・薄宏幸・鈴木順弘・菅沼正人・近藤嘉一	
竹内一弘・和田朋徳	（以上港南営業所乗務員[港南支部青婦部員]）
赤須和博	（港南営業所車両係）
宇田川幸一	（本牧営業所乗務員）
西田啓・山田雄一郎・横山幸宏	（以上浅間町営業所乗務員）
高橋英次	（浅間町営業所車両係）
伊藤徹也	（滝頭営業所乗務員）
山口崇	（野庭営業所乗務員）
松下幸司・岩崎淳	（以上 上永谷乗務管理所[地下鉄]車掌）
坂田潤	（横交本部青婦部）

以上の要員のほか、大森港南営業所長、斎藤副所長、斎藤横交副委員長をはじめ、多くの方々に当日ご協力をいただきました。また、交通局総務部より吉澤氏、そしてタウンニュース社よりそれぞれ取材に来ていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



訪問見学会前の運行前点検の様子

5 参考資料編

(ア) 参考資料 1 児童説明用紙芝居構成 (全 19 枚)

紙芝居 1 ページ目



ここが、私達が働いている、市営バスの港南営業所です。この車庫には、バスが73台有ります。(2003,9,24 現在)これから、バスの運転手さんの1日を見てもらいます。
みんながまだ寝ている、朝5:20から夜は12:36まで、交代で働いています。

紙芝居 2 ページ目



運転手さんが出勤してきました。自分の名前の書いてあるカードを、ボックスの中にさして、これから運転手さんの1日が始まります。このカードは、バスの車内にもさしてあります。今度バスに乗ったときに、探してみてください。

紙芝居 3 ページ目



出勤した運転手さんが、まず最初にすることは、バスの点検です。これから1日お客様を安全に運ぶために、念入りにバスの点検をしています。
これは、『タイヤがパンクしていないかどうか』を見ているところです。

紙芝居 4 ページ目



バスの後ろにまわって、エンジンルームの中を点検しています。

紙芝居 5 ページ目



そして次に、『点呼』をします。
免許証を持っているか確認したり、体の具合が悪くないか確認したり、今日1日走る路線の時刻表(スターフ)を受け取って、走るときの注意するところなどを聞いたりします。

紙芝居 6 ページ目



運転手さんは、この5つの物をバスに持っていきます。
(5つの物の名前と、その物の説明をする。)
料金箱・スターフ(運行指示表)・車内名紙・バスカード入れ・
車両番号札

紙芝居 7 ページ目



運転手さんの休憩をするところには、このような画面があっ
て、出発する時間を教えてくれます。

紙芝居 8 ページ目



車庫を出発すると、たくさんのお客さんが乗ってきます。バスには9
個のミラーがついています。そのミラーを全部見ながら、事故を起こ
さないように運転します。

『この後、以下の説明をして下さい。』

料金を払うときには、「子供です!」と言ってください。そうしないと、カードのときは、
大人料金を引かれてしまいます。

お客さんがたくさん乗ってきた時は、後ろのほうに進んでください。

他のお客さんに迷惑になるので、車内では静かにしてください。

席があいているときは、席に座ってください。

50円キャンペーンのこと。(期間があること、現金のみであること)

バスカードのこと。(車内販売していること、1日乗車券や環境券のこと)

紙芝居 9 ページ目



車椅子のお客さまも乗ってきます。
バスの後ろのドアにある、スロープ板を出して、車椅子の
人が乗るお手伝いをします。
車椅子の乗車については、後で実際にやってみましょう!

紙芝居 10 ページ目



バスの車庫には、バスを整備する工場があります。ここは、バスの病院みたいなところで、突然バスが壊れてしまったときに修理をしたり、定期整備と言う、人と言う、『健康診断』みたいなことをします。ここで働いている人を、『整備士さん』といいます。バスのお医者さんです。バスの調子の悪いところを見つけて直してくれます。バスの部品は、一つ一つが大きく、とても重たいです。また、工場は建物の外にあるので、夏は暑く、冬は寒いので、とても大変です。バスが安全に走れるのも、みんなから見えないところで、整備士さんたちがバスを整備してくれているおかげなんですね！

紙芝居 11 ~ 13 ページ目



車両工場(参考資料2003/9/24現在) 2営業所の整備を受け持っています。

人員 16名 車両台数 港南...73両(ノンステップ19両・スクールバス1両・コアラ2両・HIMR(ハイブリット)2両・リフトバス 1両)・野庭...50両(ノンステップ6両・ロング10両) 毎月1回定期点検 その他、臨時修理、板金塗装 冬場、雪の日はチェーン巻き。ヒーターの点検。夏場、クーラーの点検。

エンジン(0年~2年車 ノンステップバス)P11C型 6気筒ディーゼルインタークーラーターボ10520CC 250馬力・ピストン直径 12cm 全長 10m51cm 幅2m49cm 高さ3m01cm車両総重量 14t750kg・定員63名・燃料タンク 150L・燃費 1L/2kmタイヤ1本 90kg・タイヤチェーン(1台分)25kg

紙芝居 14 ページ目



1日の仕事が終わって、車庫に帰ってくると、まずバスに燃料を入れます。

車庫の中には、ガソリンスタンドがあります。

バスは『軽油』というもので動いています。

紙芝居 15 ページ目



運転手さんは、終点についたときや、車庫に帰ったときには、忘れ物が無いかどうか、車内の点検をします。

- | | | |
|-----------|----|---------------|
| 『忘れ物で多い物』 | 1位 | かさ(月500件) |
| | 2位 | 財布・定期入れ(月30件) |
| | 3位 | 時計(月20件) |

紙芝居 16 ページ目



バスが汚れているときには、洗車機に入ります。
バス用の大きな洗車機が車庫にはあります。

紙芝居 17 ページ目



1日の最後に『乗務日報』を書きます。
今日1日異常が無かったかどうかや、バスの調子が悪いところが無かったかどうかを書きます。

紙芝居 18 ページ目



そして、『終業点呼』をします。朝とは反対に、受け取った時刻表を返し、今日1日の出来事を報告したりします。

紙芝居 19 ページ目



これで、運転手さんの1日が終わります。
おつかれさまでした！！

(イ) 参考資料2 紙芝居の留意事項

はじめに

小学校での PR 活動にあたり、営業所との話し合いで、「バス営業所に関する説明をどのようにしていくか」という話題になった。

「バス車内の車内広告の枠に、営業所内の写真を掲出し、説明をしたらどうか？」という案がでた。しかし、広告枠に掲出すると、車内を移動しながら説明をしなくてはならなくなり、『運転席体験』のグループと干渉しあってしまうことになってしまう。

それならば、ということで、「不要となった車内広告の裏に写真を貼り、紙芝居方式で、説明をしてはどうか？」ということになり、今回の紙芝居製作となった。

製作手順



(イ) 説明したい場面をあげる

- 営業所全景 - 出勤（出勤登録） - 運行前点検・2 箇所（タイヤ・エンジンルーム） - 始業点呼（スタッフ手渡し） - 5 点セット（スタッフ・カード入れ・車内名刺・料金箱・車両番号札） - 出庫表示板 - お客さま乗車風景 - 入庫・3 箇所（燃料・カーウォッシャー・車内点検） - 乗務日報 - 終業点呼 - 退庁 - 車両工場
- 考えられた場面は上記の箇所。紙芝居方式なので、説明時間に応じて増減できる（食事風景などもいとをかし）。

(ロ) 文章を書くためのイメージを作るために、実際に場面を撮影する

- 営業所事務所のデジカメ（事故係用）を使用。
- 実際に撮影するための、イメージ画をここで作る。
- 点呼風景などの撮影は、営業所係員に協力してもらい、演技してもらう。

(ハ) 撮影した写真を白黒で印刷する

- 営業所のパソコンを使用。プリンターも営業所業務用の物を使用。

(ニ) 白黒印刷をした写真を見ながら、説明をする文章を考える

- 小学校低学年対象。簡単に分かりやすく、しかも短くまとめる…今回の内容でも児童には重かったようです。
- あくまで説明する内容の目安程度の文章。
- 車両係に関する説明は、車両の人に内容や伝えたいことの確認を取る。工場関係とバスの車両に関する資料を提出してもらう。

(ホ) 撮影用のモデルを準備し、本番用の撮影をする

- 今回のモデルは青婦部員。服装には特に注意。
- 工場の場面は、工場の人に場面を考えてもらう。
- デジカメは、個人所有の高画質なものを使用できればなお可。

(ヘ) カラー印刷をする

- 今回は営業所副所長に協力をしてもらい、本課にて印刷。インク代等を考えると、営業所の協力が不可欠！
- 4部製作（サイズはA3）
- 和田のデジカメは高画質すぎたため、1枚2メガバイト以上ありました。そのため1部印刷するのに20分以上時間がかかったため、その点は要注意。画質は非常によいので、時間との兼ね合いでサイズの調整も考えましょう

(ト) 印刷したものを、不要となった車内広告の裏面に貼り付ける

- 印刷した紙のままだと、薄くてすぐに壊れてしまう。

(チ) クリアファイルに入れる

- 何度も繰り返し使うため。
- 紙芝居については、参考資料2参照。

本番当日

- 後ろの児童にも見えるように、紙芝居の持ち手が2人。読み手が1人。
- 時間に応じて、文章を省いたり、説明を付け加えたりすると良い。文章をただ読んでいるだけでは、小学生が飽きてしまう。
- 1枚読むごとに、小学生がこちらに話し掛けてくるので、時間の許す限り

その質問等に答える方が良い。

- 『忘れ物の多い物ベスト3』などは、クイズ形式にすると楽しめる。
- 読み手の人がいかに面倒くさがらずに説明するかが重要！読み手の人柄で、小学生の興味の持ち方も変わってくる。読み手の人選には、そのあたりを考慮すると良い。
- あらかじめ、「これだけは必ず伝えたい」というものを決めておくと、時間が無いときに、省略しやすい。
- 時間配分のため、バス後部や説明者が視線を落とさずに見れるところに時計があるとよい。
- 車両工場の説明のところでは、工場の整備士の人に説明してもらえると良い。いない場合は、あらかじめ何を説明すれば良いか、打ち合わせておく。
- 時間と小学生の反応を瞬時に判断できることがポイント！
- スタッフや50円キャンペーンのステッカーなど、かさ張らない品物については持参して、説明のときに実物を見せて、説明すると良い。

その他の留意項目

この紙芝居は、我々運転手の仕事や、それに関わる人たちの仕事をいかに分かりやすく伝えるかが重要です。そして、現場で実際に運転している我々が説明することによって、より臨場感ができます。

説明を一方的、機械的にするのではなく、小学生との双方向の交流をすることを心がけるようにしてください。また小学生の中では、『バス＝運転手』というイメージがありますが、普段目にしない『整備士さん』のおかげで、市営バスが1日安全に運行ができる、ということをお忘れずに教えてあげるようにしましょう。

紙芝居製作にあたり、印刷などで、費用がかかります。この点は営業所の協力を仰いで、効率的に製作するようにしましょう。

(ウ) 参考資料3 写真撮影上の注意事項

肖像権侵害防止のため、無断撮影は厳禁

肖像権とは「自己の容ぼう等のみだりに撮影されたり、公表されたりすることがないことをその内容とする権利」です。

憲法上明文で保障されているものではありません。しかし、肖像権はプライバシー権、人格権の一類型として、憲法13条⁶によって「幸福追求権」の一種として憲法解釈上認められています。

最高裁判所も、「個人の私生活上の自由の一つとして、何人も、その承諾なしに、みだりにその容ぼう、姿態（以下「容ぼう等」という。）を撮影されない自由を有するものというべきである。これを肖像権と称するかどうかは別として、少なくとも...正当な理由もないのに、個人の容ぼう等を撮影することは、憲法13条の趣旨に反し、許されないものといわなければならない。」としています（いわゆる京都府学連事件判例、最高裁大法廷判決昭和44年12月24日刑事裁判集第23巻12号1625頁参照）。

撮影は事前の許可が必要

ただし、被撮影者の同意がある場合、裁判官の令状がある場合、犯罪が生じ、証拠保全の必要性・緊急性があつて、相当性ある撮影方法が取られた場合、には撮影が許されます。

上記判例は、学園紛争真っ盛りの時代に、学生のデモ行進を無断で撮影した警察官の行為に対するものであり、⁶が争点になったものです。バス説明会においては、⁶の同意が必要となります。

本説明会は、有志の職員による自主的活動です。しかし、職務に密接に関連した行為ですので、「公務」性が強いものとなります。よって法的に厳格な行動が要求されるのです。

被撮影者は今回のような小学校への展示会だと、小学校低学年ですので、6～8歳が対象です。この年齢だと、法的には単独での承諾能力が認められていませんので、必ず保護者（法定代理人）の承諾が必要となります。

⁶憲法13条「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他国政の上で、最大の尊重を必要とする。」

学校の場合ですと、PTAの承諾が必要となりますが、その承諾手続きにはおよそ2ヶ月程度が目安です。撮影の際には、PR活動の申し入れと同時に撮影承諾の手続きも必要となります。

企画書提出の際学校長へ撮影に関する要望を出します。担任から保護者へ企画内容を周知。撮影内容・掲載メディア（新聞・機関紙・全国区テレビ・地域テレビ）の種類などを説明し、撮影についての承認を得ます。

学校によっては年度始めに写真掲載やプライバシー情報の公開レベルに関するアンケート等をすでにとってあり、児童によっては掲載できるメディアを把握しているところもあります。この点確認してください。

学校長が取材スタッフに肖像権に関して直接説明する場合もあるので、取材依頼時に伝えておきましょう（今回も同様であった）。

広報活動について

PR活動は市民を味方につけることが目的であり、当該活動を広めていくには、さまざまな媒体に掲載してもらうこと望ましいといえます。

そこで、考えうる限りの媒体へ、活動記事の掲載を依頼することが大切です。今回は、局内報・タウンニュース港南・支部青婦部機関紙「あしたの風」・横交本部青婦部機関紙「友愛」・横交本部機関紙「横交新聞」に掲載または掲載予定です。その他、ケーブルテレビ、広報よこはま等に掲載や取材をお願いしましたが、諸般の事情で掲載できませんでした。

これらの広報活動を行なうに際し、上記の肖像権の問題をクリアーしておく必要があります。

(工) 参考資料4 小学生アンケート集約

小学生アンケート集約

回答総数96名

内訳 1年生47人(1組24人、2組23人)
2年生49人(1組23人、2組26人)

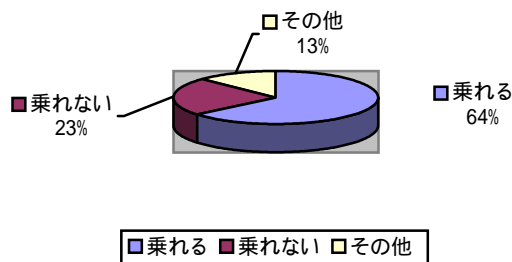
1. 学年クラス(省略)
2. 今日はバスを見て、触って、どうでしたか？

- 楽しかった(×31)
 - 運転席に乗れてよかった(×18)
 - 運転手さんの帽子をかぶれてよかった(×2)
 - ボタンを押せてよかった(ドアの開け閉め等)(×13)
 - もっとボタンが触りたかった(×4)
 - マイクがおもしろかった(×1)
 - すごかったです(×5)
 - 紙芝居がよかった。(×6)
 - 車いすにのって楽しかった(×2)
 - いつも乗っているバスが学校にくるなんてびっくりした
 - いろんなボタンがあることにびっくりした(×2)
 - バスのしくみがよくわかった
 - バスは大きかった。タイヤも大きくごつごつしていた。かたかった(×5)
 - 座席の布がきもちよかった、ふわふわしていた(×2)
 - たいへんだなとおもいました
 - なまえをいうときどきどきしました。
 - ハンドルが普通の車よりも大きかった

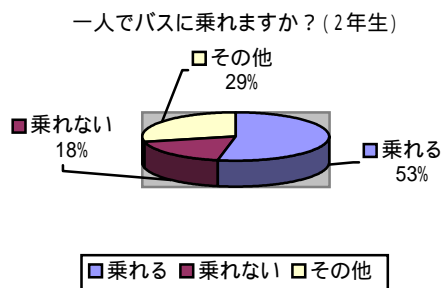
3. 一人でバスに乗れそうですか？

- 1年生 計47人 乗れる 30人・乗れない 11人その他 6人
- その他の内訳(お母さんが良いと思ったら乗れる...1名 ちょっと心配...3名 ちょっとはずかしい...1名「ひとりでのつたらたいへん」...1人)

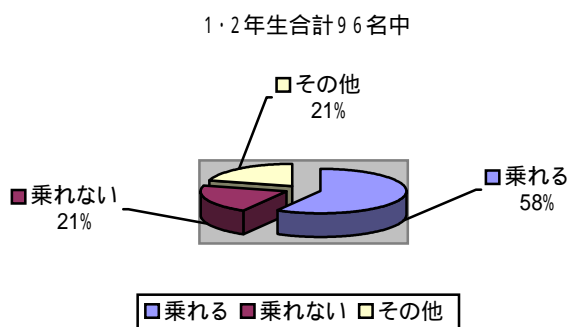
一人でバスに乗れそうですか？(1年生)



- 2年生 計49人 乗れる 26人・乗れない 9人・その他 14人
 (その他の訳わからぬ13名 あまり...1人 梨かった..2人 うしかった..1人 あまのなま..1人 よくわかった..1人 ちょっとしんは..1.4人 おさんがいって言ったらゆる...1人)



1・2年生合計グラフ



4. バスの運転手さん・整備士さん、地下鉄の車掌さんに聞きたいことや、言いたいことがあったら書いて下さい。

➤ バスの運転手さん向け

- ・車いすが2台来たときはどうするのですか
 - ・バスの運転手さんは大変ですか？
 - ・エンジンはどうやってかけるのですか。
 - ・いつもひとりで運転していてさびしくないですか(×2)
 - ・遠足のときもよろしくおねがいします(×9)
 - ・帽子は何でかぶっているのですか。(×2)
 - ・車いすの人は1日どれくらい？
 - ・バスは1日何回くらい走っていますか
 - ・どうやって運転するの？運転しておもしろいこととかある？
 - ・バスの事故は1年に何回あるの？
 - ・なぜ手袋をつけるのですか(×3)
 - ・おそくまでやっていて疲れないんですか
 - ・ハンドルがでかいからコントロールできますか。
 - ・降りるとき車いすは乗るときのようにやるのですか。

➤ バスの整備士さん向け

- ・整備士さんは大変ですか？
- ・どうやってバスをなおすのですか。
- ・タイヤはどうやってつけるのですか（もちあげられるの？）
- ・バスの重さは？
- ・ガソリンを満タンにするにはどれくらいはいらいますか。
- ・バスはどれくらいの長さですか。
- ・バスはどれくらいのスピードではしるの？
- ・いろは何色がありますか。
- ・バスの前の入り口は坂（スロープ）になりますか。

➤ 地下鉄の車掌さん向け

- ・こんどは電車がきてほしい。
- ・でんしゃはえんじんあるのですか？
- ・地下鉄の電車の重さは何キロですか。
- ・地下鉄の線路のはばはどれくらい？
- ・電車の運転手のうしろにカーテンがあるのはなに？
- ・地下鉄の車掌さんはどうお仕事しているの？

➤ その他

- ・おしごとがんばってくださいね。（×13）
- ・休みの日はありますか。
- ・バスのティッシュはうれしかったです。
- ・またバスのせてね。（×3）

小学生アンケート総括

全体として非常に喜びの声が多かったです。やはり、普段見慣れているバスが「学校」に来て、じかにふれられることが児童の心に響いたのでしょう。

2. の感想に関しても運転装置系に触れたことが嬉しかった、という感想が非常に多かったです。

3. の一人でバスに乗れますか、という問いかけには、驚くほど多くの児童が乗れる、または乗れそうとこたえていました。私たちとしても嬉しい限りです。

4. の聞きたいことに関しては、私たちも即答できるかわからない質問があつて、ドキッとさせられます（たとえば、「何で帽子をかぶっているのか」の質問に即答できる職員はいるだろうか）。次回以降、紙芝居の中に取り入れるとさらに良いものができるでしょう。

(オ) 参考資料 5 参加者アンケート集約

参加者アンケート集約 参加総数 18名、回答総数 15名

1. 今日の良かった点

- 授業の一環として取り入れてもらえたこと。(バス運転)
- 市営バスに親しみを持ち、実車によるバリアフリーを体験してもらえたことが大変良いと思う。(バス整備・バス運転・地下鉄)
- 子供たちの楽しそうな笑顔に触れ合えたこと。初心に戻れた気がする。(バス運転×3、地下鉄)
- タイムスケジュール等綿密であり、準備、特に紙芝居や名札があり、よかった(本部・バス整備・バス運転×2)
- このような活動はこれからも必要。今回参加して勉強になりました。(地下鉄)
- 管理職の方や他支部の参加者が多数いて、全員一丸となって行動したこと。(バス運転×2)

良かった点・総括

小学校の授業の一環として、小学生の社会勉強になっていることを直接参加者が感じており、一人ひとりの参加者のモチベーションを高める結果となっているようです。全員が交通局職員としての新たな認識を持ったのではないのでしょうか。

2. 今日の悪かった点

- 運転席での体験後の子供達が時間を持て余していた(バス整備×2)
- スケジュールがきつい。2時間枠で1学年が理想かな?(バス運転×5・本部・地下鉄×2)
- 学校への搬出入を十分に検討すべき(バス運転×2)
- もう少し子供に対して笑顔を作ったほうが良かった(バス運転)
- 地下鉄のことについてほとんど説明できなかった(以上地下鉄)

悪かった点・総括

やはり、時間配分の難しさが共通の課題であったようです。企画の段階だと、自分たちの提供する行為だけを前提に考えてしまうのですが、現場では児童の反応があることから、計画どおりの進行には必ずしもならないものです。その点、今回の反省を踏まえつつ、次回につなげていきたいと考えます。

また、学校へのバスの搬入出が課題となります。今回のように、搬入は比較的楽だったものの、搬出に困難を極めるような場合を想定することも必要です。

3. 今後どうしていきたいですか？（自分の支部に帰って）

- 営業所内で有志の組織はできている。具体的な活動はまだ行っていないが、今後開催を目指したい。（バス運転×3）
- 各所属で協力し、多くの学校で実施していききたい（バス整備×2・本部・バス運転×5）
- マニュアル作って継続せよ。（バス運転）
- あくまでボランティア対応。現場が主体のほうが成功する（バス運転）
- 地下鉄でも基地等での開催を目指したい。（地下鉄×2）

今後どうしていきたいか、総括

各支部でもPR活動を実施していききたいという声が大きくなっているようです。一つでも多くの職場でこのような活動が広まっていくことを望みます。

4. 当局・営業所に期待する事はありますか？

- バス等の貸し出しを積極的に行なって欲しい（バス整備・バス運転・本部）
- 交通局の行事としてもやって欲しい。勤務も日勤対応・職免等で対応できると良い。社会見学で職場へきてもらうなど。（地下鉄×2・バス運転×4・本部・バス整備）
- 企画立案してからの行動を「円滑かつスピーディー」にして欲しい。（バス運転）
- もっともっと交通局のいい部分をアピールするべき、かな。（バス運転）

期待すること・総括

局の行事としてやるべきとの声がありました。今回は公休・自己啓発・年休対応で、各人勤務のやりくりで苦労したことが反映されているようです。

反面、自主的活動ゆえ、営業所の関与の度合いを再考慮してくれとの声もありました。

しかし、多くは当局と密接に連携の上、活動を進めるべきであるとの考えでした。

見学会実施の後、参加してくれた小学生の保護者の方から、感謝の声をいただいた、と先生から伺いました。

実施したわたしたちにとって、このような喜びの声は大変励みになります。今後もこのような活動を続けていききたいと思います。

(カ) 参考資料 6 車内広告スペースへの児童絵画展示(ギャラリーバス)について

生徒達に「私達と市営バス」をテーマに絵を書いてもらいました。9月24日の見学会実施後、1年1・2組はA3用紙にグループ分けして書き、2年3組(個別級)はB3用紙に一人一枚書いてもらいました。

書いてもらった絵は、縮小カラーコピーします。そして、紙芝居同様に車内広告の裏に貼り付け(厚紙で絵を補強+フィルムで湿気防止)余白に名前を記して掲載します。車外にも「洋光台第三小学校ギャラリーバス」等のシールを張しだし、走行します。



ギャラリーバス
3745号と車外
表示
表示は前面・側
面・後方にあり
ます。

ギャラリーバスは、開催校である洋光台第三小学校の校区がある洋光台駅周辺を路線とする111系統を集中的に走行させたいと考えており、現在調整中です。

契約している広告物もあるので調整が必要となります。

ノンステップバスの車内広告スペースは $18+6+1=25$ 枚あります。今回はスペースの関係で1年生50名がグループに分かれてA3の画用紙に合計16枚を張り出すことになりました。



ギャラバス車
内の様子(写真
左)とギャラバ
ス主旨の車内
表示(写真右)

11月なら広告の調整が出来るということで、11月いっぱいバスの車内に掲出する予定となっています。

さいごに

最初に、この企画を提案した近藤嘉一さんにお礼を言います。また、この活動に賛同し集まっていたいただいた各支部の皆様、支部・横交本部・営業所・そして各職場の皆様、本当にありがとうございました。そして、洋光台第三小学校の上村先生をはじめとした先生がたには、この飛び込み企画にご理解・ご協力頂き感謝してお礼申し上げます。

PR活動がスタートしてからは、この企画が頭から離れたことはありません。当初イベント的要素の強かったこの企画に対する気持ちも、協議を重ねるたびに変わっていきました。営業所の協力は得られるのか？小学校は取り合ってくれるのだろうか？はたしてこの企画は成功するのだろうか？悩みながら、とりあえず私が企画書を作成しました。そして幹事会で協議し...今度は申し入れ書を作成して...常に私のかばんの中には膨大な資料があり、同じ資料を何度も読み返す。そんな中でも頭の中には制帽を被り運転席に座って楽しそうに満面の笑みを浮かべている小学生の姿、車椅子の実演を驚きの表情で見つめる子供たちの姿がありました。それだけに小学校から説明会の日時決定の知らせを聞いたときは飛び上がるほど嬉しかったです。実際は日程が決まってからの方が大変だったのですが...お陰様で様々なことを学習することができました。

この企画では様々な考え方を持つ人間が一つの目標に向かい、個々がそれぞれの役割を分担しました。協力し、行動し、反省点などを共有しあいながら港南青婦部の結束が図れたことはもちろん、他支部との団結と交流に結びついたことは十分な成果でしょう。私たちはこの活動を1回で終わらせるつもりはありません。せっかく得ることのできた経験を、次への活動へと繋げていくつもりです。小学生、担任の先生方、そして自分の休暇を利用して参加してくれた職員の皆さんからアンケートをいただきました。無駄にするつもりもありません。職員提案にも出しましたが本課と営業所の協力のもと、青婦部員だけではなく全職員からボランティアを募り港南区の小学校を回っていきたいと考えています。誰かがやってくれるのを待っていても何も始まらないのです。共に行動しましょう！！

この文章を作成するためにパソコンに向かっている頃、横浜市市営交通事業あり方検討委員会においてバス事業のあり方の話し合いが始まっています。私たち乗務員は市民の足を確保するためにこの議論や局の経営に参加することはできません。このPR活動をはじめとする多くの活動が、全営業所において、交通局の未来を憂う職員の手により活発に行われることを願います。そして私たちが小さな小学生たちに植えた小さな種がどんどんと育っていき、「市営バスが必要だ」との市民の大きな声となれば良いと考えています。

港南支部青年婦人部書記長（PR活動責任者）

港南営業所（バス運転手） 和田朋徳

洋光台第三小学校バス訪問説明会 実施報告

平成 15 年 10 月 6 日 初版発行
平成 15 年 10 月 22 日 第 2 版発行
平成 15 年 11 月 4 日 第 3 版発行

著者 青婦部書記長 和田朋徳 (本部青婦部常任幹事)
青婦部教宣部長 近藤嘉一

編者 青婦部財務部長 鈴木順弘 (支部教宣担当)

発行所 横浜交通労働組合港南支部青年婦人部

印刷 横交
労組 港南支部 〒234-0055
神奈川県横浜市港南区日野南 3-1-1
045(831)1690

©2003 Konan Branch of Yokohama Transportation Labor Union Printed in Japan
本書の全部または一部を無断で複写複製 (コピー) することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。その場合には著作権法 49 条・119 条により、3 年以下の懲役または 300 万円以下の罰金に処せられることがあります。